

# 一中校区 小中一貫校を前提にした『長宝寺小での仮設校舎等整備』予算は認められない！

## 日本共産党提案の修正案は、賛成少数で否決（賛成5、反対9）

12月22日の本会議で、藤田まり議員が行った、一般会計補正予算（第8号）の修正動議の提案理由（要旨）は次の通りです。

今回の修正提案は、補正予算の債務負担行為の「長宝寺小学校における学校統合校舎整備に係る債務負担（令和7年度まで）5億1607万1千円」を削除するものです。

この債務負担は、一中校区の施設一体型小中一貫校の建設を令和4年度から進めることを前提に、その工事期間

中、長宝寺小の敷地内にて長宝寺小と交野小の統合を進めるためのもです。

しかし、一中校区の施設一体型小中一貫校は、限られた狭い敷地の中で1100名を超える小・中学生が9年間を過ごし、グラウンドの使い方をはじめ、日常的にたくさんの制限や制約に縛られる、過密で窮屈な学校となります。

また、「コロナ禍で、来年度の市の税収も大きく落ち込む見込みや、国の財政状況も不透明な状況であり、財政運営基本方針見直し内容も現在では示されていません。

長宝寺小へ通う通学路の安全対策についても、府などへの改善要望の回答は来年1月ごろ、要望が通らなかつた時の安全対策の検討はこれからであり、子ども達の安全を守る具体策は全く決まっています。

多くの課題が解決されないまま、市民の理解も得られておらず、議会で小中一貫校に関する条例が決まったわけでもない今、今回の債務負担を提案すること自体、市民の不安や疑問に背を向けるものであり、到底理解を得られるものではありません。よって修正動議を提案します。

修正動議を提案します。



賛成者の討論を紹介します。

【山本議員】（要旨）

建設費が高騰し、総事業費がどこまで増えるかまだ示されていない。一中校区だけに多額の税投入すれば他校区の改修などもできなくなる。「コロナ禍で税収も減る見込みであり、総事業費が示されるまで、計画は一年遅らせるのが妥当である。

【松村議員】（要旨）

現状では、基本設計をふまえた建設費が示されておらず、借金が膨れあがる恐れがあること、保護者への説明が不十分で合意が得られていないことから、一貫校建設の前段となる債務負担は認められない。



### 採決結果

賛成	藤田（共産） 山本（無所属）	北尾（共産） 賛成討論あり	皿海（共産） 松村（無所属）	賛成討論あり
反対	岡田（維新） 友井（公明） 片岡（無所属）	伊崎（維新） 中谷（公明） 松本（無所属）	臼口（維新） 久保田（市民）	野口（市民）

※反対した全議員、反対討論せよとせずに修正案を否決させました。

※三浦議員は、議長のために採決には加わっておりません。